

(一社)日本木材学会 地域木材産業研究会、木材強度・木質構造研究会

2018年春季 合同講演会のご案内

「変化する森林資源構成とマーケットニーズに対応するために」

林業及び木材産業は、地方創生に寄与する産業として期待が高まっており、木質バイオマス利用の拡大、新たな木質部材の開発、公共建築物のみならず商業施設等における積極的な木造化・内装木質化の取組など従来にない変化が生じています。我が国の森林資源は戦後造成された人工林が充実し、木材自給率は35%に達するに至っていますが、過半数の森林では、高齢級化、大径化が進んでいる現状に直面しており、私達には、質的・量的に変化しつつある国内森林資源を新たなマーケットニーズに対応させるための研究や技術開発が求められています。

このような背景を踏まえ、地域木材産業研究会と木材強度・木質構造研究会は共催で、国産材の利用技術に造詣の深い講師の先生方をお迎えして講演会を企画いたしました。変化する森林資源構成とマーケットニーズに対応するために、現状を整理し、今後の技術開発の進むべき道について議論を深め、共に考える機会にしたいと思います。多数の皆様のご参加をお待ち申し上げます。

主催： (一社)日本木材学会地域木材産業研究会、木材強度・木質構造研究会 (共催)

協賛： (公社)日本木材加工技術協会

日時： 2018年3月16日(金) 13:15~16:30

会場： 京都府立大学下鴨キャンパス

住所：京都府京都市左京区下鴨半木町1-5 (最寄り駅：市営地下鉄烏丸線「北山駅」)

プログラム： (演題)

- | | | | |
|--------------|---|------------------|---------|
| 13:15 -13:20 | 開会挨拶 | 木材強度・木質構造研究会代表幹事 | 戸田 正彦 氏 |
| 13:20 -13:50 | 木材の含水率管理—Wood/Water Relations— | 東京大学大学院農学生命科学研究科 | 信田 聡 氏 |
| 13:50 -14:20 | 木材の乾燥履歴と構造利用 | 九州大学大学院農学研究院 | 藤本 登留 氏 |
| 14:20 -14:50 | 輸出力の強化に向けたJAS規格の国際化
(国研) 森林研究・整備機構森林総合研究所 | 長尾 博文 氏 | |
| 14:50 -15:00 | (休憩 10分) | | |
| 15:00 -15:30 | LCAと経済性から見た木質バイオマス発電の現況
(地独) 北海道立総合研究機構林産試験場 | 古俣 寛隆 氏 | |
| 15:30 -15:50 | 秋田の林業・木材産業の変遷 | 秋田県立大学木材高度加工研究所 | 林 知行 氏 |
| 15:50 -16:30 | 総合討論 | 司会 地域木材産業研究会代表幹事 | 川上 敬介 氏 |

参加費(資料代を含む)： 一般 2,000円 / 学生 1,000円 (当日、申し受けます)

参加申込：

- ・必要記載事項 ①氏名、②所属、③連絡先 (TEL,メール)、④一般/学生、⑤領収書の要/不要
- ・申込先 戸田 正彦 e-mail: toda-masahiko@hro.or.jp

申込み締切： 2018年 2月28日(水)

問い合わせ： 川上 敬介 鳥取県林業試験場

TEL 0858-85-6221、e-mail:kawakami-ke@pref.tottori.lg.jp

戸田 正彦 (地独) 北海道立総合研究機構林産試験場

TEL : 0166-75-4233(内線 462)、e-mail: toda-masahiko@hro.or.jp